

少年少女わたしの作品

はな
ねん こだやうへい

亀岡市・亀岡小1年 小高 蒼平

追
小五 北尾 将人

中京区・朱雀第七小5年 北尾 将人

作文

すいかのたね

伏見区・京都聖母学院小2年

富山 雅勝

ぼくのいもうとが、すいかをたべて、たねだけをだして、おじいちゃんといっしょにげんかんにうえました。

1日たって、ぼくは水をやりに行きました。2日後に、また水をあげました。3日後に、芽が7こできていました。4日後に、芽が12こできてきました。ぼくは、びっくりしました。

日曜日に、すいかのうえかえをしました。プランターが小さいので、すいかにはきゅうくつになりました。そして、おじいちゃんと水やりをしました。

りおど
小三 ぼのか

北区・紫竹小2年 堤 穂乃佳

麦茶

六年 松尾 和奏

右京区・太秦小6年 松尾 和奏

そのあと、すいかのくきの横にぼうをさしました。なぜぼうをさすのか、ぼくは分かりませんでした。だけど、「すいかの芽がたおれないようにささえるためだよ」と、おじいちゃんがおしえてくれました。大きいすいかができてほしです。

3年ぶりの祇園祭

上京区・正親小5年

川口 岳

今日、祇園祭に行きました。3年ぶりなのでわくわくしました。バスで行きました。

歩いていると、いろいろな「ほこ」や「山」がありました。歩いていると中で、ベビーカーを買いしました。

最初は、人通りがふつうでしたが、なぎなたぼこらへんが、混雑

ねひりま
三年 杉江ゆうが

草津市・淡川小3年 杉江 佑太

北西

八年 武村 歩理

左京区・花背小中8年 武村 歩理

してうごけないくらいになっていました。混雑している所をぬけた後、いちご味のかき氷を食べました。

ぼくは、西陣織がたくさん使われていたなぎなたぼこが、印象に残りました。また来年、行けたら祇園祭に行きたいです。

詩

楽しい夏休み

南区・上鳥羽小3年

澤田 奈々江

プール

いとこと会う

りょこう

家族とあそぶ

おじいちゃん家

夏休みは

いっぱいだ
もしも心がなかったら

長岡京市・長岡第五小4年

岡崎 涼子

もしも心がなかったら
何も感じる事ができない
楽しいも うれしいも
悲しいも さみしいもない
人には心がある
だからいろんなことが感じられる
人の心は役に立つ
感じる事 思うこと
考えること すべてに役立つ
人は心があるから
いろんなことが感じられる
もしも心がなかったら
何も感じる事ができない
もうすぐ夏休み

もうすぐ夏休み

伏見区・桃山小6年

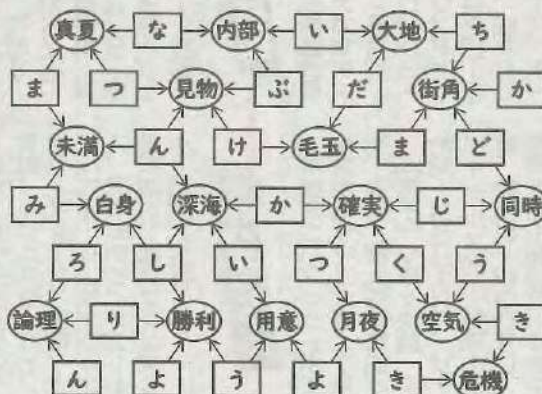
芳田 佳南子

もうすぐ夏休みが来る
何をしようか
絵をかこうか
本を読もうか
工作をしようか
夏休みは何をしようか

作品募集 小、中学生の作文・詩(いずれも400字詰め原稿用紙1枚以内)および習字(半紙)で、自分の作品に限りまず作品には郵便番号、住所、氏名、電話番号、学校名、学年を書いたメモをフリックして、〒604-18577 京都新聞社文化部「少年少女わたしの作品」係へ添削することもあります。作品は返却しません。採用分には図書カードを贈ります。

編集部から

京都新聞ジュニアタイムズへの感想をお待ちしています。「こんな記事が読みたい」というご希望もあれば送ってください。メールアドレスはkouryu-s@mb.kyoto-np.co.jpです。



読み方づくりパズル

京大博士 パズル 答え